

一般質問

脇 芳美 議員
新緑

新緑



鳥インフルエンザ等が
発生した場合の対応は

Q 市内の養鶏場で鳥インフルエンザ等が発生した場合の本市の対応は。

A 坂出市特定家畜伝染病対策本部設置要綱に基づき、市長を本部長とする対策本部を設置し、県と連携を図りながら特定家畜伝染病対策マニュアルに沿って対応していきます。
(建設経済部長)

Q 感染した家畜の処分方法は。

(建設経済部長)

質問の項目
質主

- ・坂出農業振興地域整備計画について
- ・中小企業の活性化について
- ・生活保護費の見直しについて
- ・児童虐待について

綾川取水堰完成後の
児童生徒への安全対策は

Q 綾川取水堰が完成すると府中小学校周辺が湖の状態となり危険である。児童・生徒の安全確保のため、取水堰周辺におけるフェンスの整備や運動場に防球ネットを設置するなどして、川に近づかないような対策が必要と思われるが、本市の対応は。

A 取水堰周辺における今後の利用形態を注視し、注意喚起のための看板や転落防止柵等の設置について、県と協議をしていきたいと考えています。しかし、協議には相応の期間を要すると考えられるため、まず、周辺の幼稚園、保育所、小学校に対して、児童・生徒への周知徹底をお願いする考えです。
(水道局長)

A 既存のフェンスに児童・生徒が安易に立ち入らないよう学校とも協議しながら管理の徹底を図っていきます。また、防球ネットも十分な高さを確保する必要があることから、運動場だけでなく校庭全体においても危険が及ぶことのないよう検討していきます。
(教育部長)

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



出生数向上策と
少子化問題の打開策は

Q 本市の人口動態は、昨年11人の社会増となったが、今後も人口増加を維持するための出生数の向上策と少子化問題の打開策は。

A 全国的な晩婚化・非婚化の影響を受け、出生数は伸び悩んでいますが、子ども子育て支援について、新年度より全ての公立幼稚園において給食を実施するほか、新たに乳児紙おむつ支給事業を開始するなど、「子育てしたいまち」の実現に向けさらなる事業展開を図っています。

一方、少子化は国全体の問題であり、本来は、国が対策を講じるべきものと考えていますが、本市の実情に応じたきめ細かな取り組みを継続することで、必ずやこの状況を打破できるものと認識し、様々な施策に取り組んでいます。
(市長)

質問の項目
質主

- ・生活保護について
- ・会計年度任用職員制度について

経済活性化のため
住宅リフォーム助成制度を
創設しては

Q 他の自治体でも効果が認められている住宅リフォーム制度を創設することで、市内の中小企業に仕事が増えると同時に、商品券等の交付により制度利用者の購買意欲も生み出されることから、かなりの経済波及効果が期待されるが、本市の見解は。

A 本市では、市民の生命財産を守ることに重点を置いた、住宅対策支援事業を推進するとともに、新年度より移住・定住の促進を目的に移住促進・空き家改修等補助事業を実施します。

このふたつの事業により、地域内における経済効果が市内事業者へ波及することが推し量られると考えています。
(建設経済部長)

